

1 市民活動の推進について

- (1) 男女共同参画センターの明確な位置づけと職員の適正配置
 - ① 磐田市男女共同参画推進条例に基づき設置されているが、事業の推進にあたりセンターの明確な位置付けが必要と考えるが見解を伺う。
 - ② また、事業の推進には職員の適正な配置を行う必要があると考える。見解を伺う。
- (2) 気軽に交流できる多文化共生交流センター設置の検討について
 - ① 本市には、主に子育て中の親子が集い、育児等の相談・情報提供・子供たちの学習支援などを行う多文化交流センターがある。一方で、大人たちがコミュニケーションや絆を深めつつ、生活面等の情報収集ができる場所がごく限られている。大人たちが気軽に交流できる多文化共生交流センターの設置が必要と考えるが見解を伺う。

2 次世代の育成について

- (1) 保育士確保のための職場体験実習の推進と就職の斡旋
 - ① 保育士確保のための職場体験実習の推進、保育士の処遇改善及び離職防止の強化策（キャリア認定や休暇取得促進支援の仕組み等）が必要と考えるが見解を伺う。
 - ② 保育士と懇談できる合同就職説明会の実施、求人情報のHP公開が重要である。見解を伺う。
- (2) スクールソーシャルワーカーの増員とスクールカウンセラーとの連携
 - ① 市民から子供のことで相談したいと思ったときに相談できる体制を作ってほしい声、スクールソーシャルワーカーの増員を望む声がある。相談体制の充実と増員について見解を伺う。
 - ② 一人の子どもにスクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラー両者の関わりが必要である。連携強化について見解を伺う。

3 新しい生活文化の創造

- (1) 高齢化社会の余暇時間を利用した生涯学習・文化講座等生涯学習機会の推進
 - ① 高齢者等、社会の成熟化に伴い心の豊かさや生きがいのための学習需要が増大している。この要請にこたえる文化講座等学習機会の推進が必要と考えるが見解を伺う。
- (2) 中学校の文化的部活動の積極的な推進と生徒が希望する部活動の調査
 - ① 本市は体育系の部が活発に活動している。一方で、理科・芸術等の文化系部活動を取り入れた学校は多くない。生徒や市民から文化系部活動の推進を望む声がある。中学校の文化的部活動について、見解を伺う。
 - ② 生徒はどのような部活動を希望しているのか、アンケート調査が必要と考えるが見解を伺う。
- (3) 地域のシンボルと憩いの場の美術館及び考古資料保存展示の博物館建設
 - ① 美術館は、作品発表や作品鑑賞の場だけでなく、地域のシンボルと市民の憩いの場であり、教育や観光、地域を活性化させる手段の一つである。建設は芸術・文化に親しむ市民の願いでもある。美術館の建設について見解を伺う。
 - ② 博物館は、「資料の収集・保管、展示による教育、調査研究」を一体として行う機関であり、博物館資料を通じて文化・歴史・自然を考え、学ぶ場である。また、資料は先人たちが守り伝えてきた「宝物」である。まちづくりを踏まえた公立博物館の役割は大事と考える。博物館の建設について見解を伺う。